

バス編

子どももの頃、 憧れた席がキミの 指定席になる。

通勤通学など、生活に欠かせない交通手段の一つであるバス。
市街地を走るワンマンバスから、
離れた都市をつなぐ長距離バスまで仕事のスタイルは幅広い。
公共交通機関であるバスは生活になくてはならない存在で
「ありがとう」の声を聞くことも多く、やりがいもデカイ。
定年まで勤めあげる人が多い仕事でもある。



トヨタトヨタ



瀬戸内運輸株式会社
寺本 亮太
RYOTA TERAMOTO

社歴

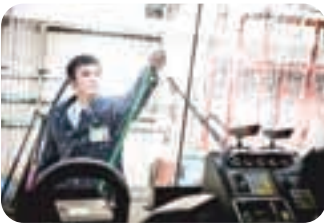
6年



研修を終えて初めて1人で乗務するときは、お客様を預かる責任感も感じて、朝起きたときから緊張して大変でした。



バスの運転士は、1人で運転をしながら、同時にお客様の対応もしなければいけないので、とても責任のある仕事です。



車体は洗車機で洗いますが、機械の届かないところを手で磨くこともあります。きれいな車体でお客様をお迎えしたいです。

優しい先輩たちに
可愛がられています

センプイの(裏)の顔



素早く敵を抜き去りカットイン!

バスケットボールが趣味です。社会人になってからは遊び感覚で楽しんでいて、チームで試合に出たりというほどではないのですが、友人たちとのグループで楽しんでいます。体を動かすことが大好きなので、最近ハスノボードも始めました。

入社当時はバスガイドとして働いていました。男性では珍しいかもしれないですが当社では歴史ある仕事で、四国霊場八十八ヶ所をご案内していただいて、憧れるようになったのがきっかけです。大きい車を自在に動かすところや、制服・制帽・手袋の姿もカッコいいなと思っていました。いざ自分が運転をしてみると、普通車よりはるかに大きいハンドルやそのさばき方に戸惑うこともありましたが、徐々に慣れました。

運転士の仕事を始めてからは約1年です。顔なじみのお客様も増えてきて、いつも見かけられる方が乗ってこれられないと、心配になったりします。バス通学の小学生たちが毎日元気に通っている様子を見守るのも、楽しみのひとつです。

研修期間中も今も、頼もしい先輩たちから色々なことをしっかりと教えてもらい、日々成長とやりがいを感じながらがんばっています。夢は運転士として八十八ヶ所にお客様をお連れすることです。

お客様との交流も心の糧
地域の足となって成長を続けます



皆さまの
足代わりになって
走ります

伊予鉄道株式会社
安孫子 英明
HIDEAKI ABIHO

社歴
3年



優しい運転を心がけています。ゲームセンターの車のゲームでは、ちょっと飛ばしてみたくなることもありますけどね。



お客様から感謝の言葉をいただくことが、何よりの励みになります。色々な場面でお客様の手助けができるようになりたいです。



運転技術と同時に大事なものは「気持ち」。常に穏やかな気持ちで、お客様に気持ちよく過ごしていただける車内を保ちます。

セフパイの裏の顔



白球にのせて思いを飛ばせ!

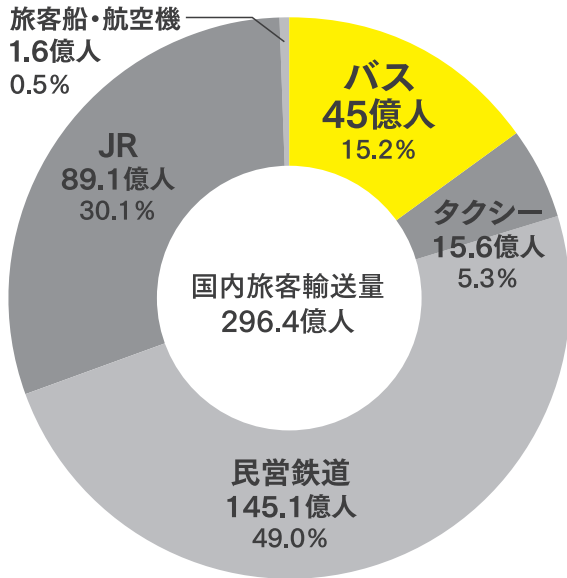
趣味は野球。以前は軟式野球で、愛媛で1位になったこともあります。今は職場の仲間とソフトボールをやっている、チームの責任者にもなっています。温泉も好きで、早い時間に終わるシフトだと昼間からゆっくりお湯につかって体をほくします。

心を尽くして運転していれば
お客様から気持ち返ってきます

路線バスを運転しています。
毎日同じ路線を走っているの
ではなく、実は1日のうちで
も、運行が終わったら別のバ
スに乗り換えて別の路線を走
ります。車体によって色々クセ
があるので、それを即座に把
握し、お客様に安心して乗っ
ていただけるように運転す
ることが、運転のプロとしての
面白さでもあり、大切にしてい
ることもあります。

私が誰にも負けないと自負
しているのは気配りです。細や
かなアナウンスを心がけたり、
お年寄りやお子さん、妊婦さ
んなどが乗ってこられた時は、
速度やブレーキの踏み方をい
つも以上に注意します。優先
座席を譲っていただくようお
願いのアナウンスをすると、多
くのお客様が一斉に立ち上がっ
てくださることがあり、こちら
が温かい気持ちをいただいでい
るのを感じます。誠実に仕事
をしていれば、形を変えて返っ
てくるものですね。お客様
から直接感謝の言葉をいただ
くことも多い、とてもすばらし
い仕事ですよ。

近距離でも長距離でもニーズに応じて利用できるバス



国内旅客輸送量
平成26年度 全国輸送量：国土交通省調べ

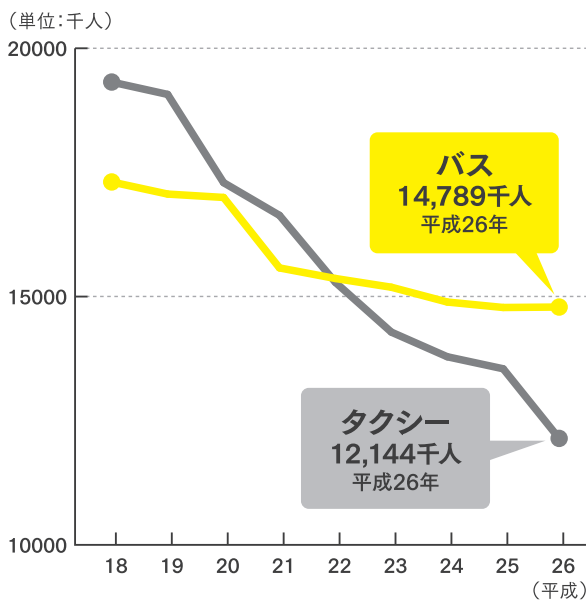
バスの年間旅客量
(乗合バスと貸切バスの合計)

45億16万人

日本のバスの旅客量は年間約45億人。
総旅客輸送人員の約15%を占めている。
1日あたりにすると約1,233万人、
東京都の人口をまるごと運んでいる数だ。
高齢化社会や環境問題が叫ばれる昨今
時代に適応したバスのニーズは高まる。



バスは愛媛県民の重要な公共交通機関



愛媛県自動車輸送量(営業用)の推移
自動車旅客都道府県別輸送人員(営業用)：国土交通省調べ

愛媛県の年間バス利用者数

14,789千人

愛媛県内のバスとタクシーを比較すると、
近年ではバスの利用者数がタクシーを
上回る傾向にある。
大都市よりも民営鉄道の普及率が低い愛媛では
公共交通機関としてのバスの果たす役割は
非常に大きいといえるだろう。

■ バスドライバーの仕事の内容

「ありがとう」が力の源 人に役立つ誇りを胸に

バスは小さな子どもからお年寄りまで、多くの人々の移動を助ける日常生活に密着した交通手段だ。ひと口にバスといっても、決まった道を決まった時間に走る路線バスや、出張や旅行にも便利な高速バス、ほかにも幼稚園バスやスクールバス、様々な施設の送迎バス、修学旅行などでの貸切バス、バスガイドと一緒に巡る観光バスなどその種類は多岐にわたり、様々な場面で活躍している。

バスドライバーにとって、大きな車体を動かす運転の楽しさは醍醐味のひとつ。だが同時にもうひとつ、乗客からの「ありがとう」の言葉は、とてつもなく大きな力になる。乗客から直接感謝の言葉をかけてもらい、人の役に立っているということを強く実感することができる、喜びに満ちた仕事でもあるのだ。



■ バスドライバーの展望

乗客としっかり向き合い、高齢化社会を支える

日本は4人に1人が65歳以上の高齢化社会だ。特に75歳以上の人口は増加傾向にあり、高齢ドライバーが関与した交通事故は近年社会問題にもなっている。未然防止のために運転免許の自主返納を促している自治体も多い。そんな社会で、バスは日常生活を支える交通手段としてさらに重要性を増す。ドライバーと乗客が直接言葉を交わすことができるバスは、心も通い合わせ、心の支えにもなり得る。

■ バスドライバーに必要な資格

関連資格…大型自動車第二種免許



■ バスドライバーにはこうすればなれる

近くから遠くまで、公共の「足」のプロになろう

バスドライバーになるために必要な大型二種免許は、「年齢21歳以上」「普通・中型・大型・大型特殊のうちいずれかの第一種免許を所持している」「免許取得から3年以上経過している」という3つの条件を満たしている場合に取得可能だ。

バス会社に入社後、免許を取得できる条件を満たすようになるまでに、営業所勤務をしながらバスドライバーとしてたくさん学ぶことがある。運転する車体のしくみをよく理解することや点検の仕方を覚えること。それから例えば路線バスの場合、運行路線や停留所の場所など地理を覚えること、アナウンスの練習、乗客への正しい接し方やマナーを身に付けることも大切だ。免許を取得すれば、実際にバスに乗り、街へ出て乗務訓練を受け、教務担当や先輩から具体的な技術や注意点を教わる。

会社や先輩がしっかりサポートしてくれるので、安心して挑戦してみよう。

